

法医 DNA型鑑定 顔画像鑑定	化学 薬毒物鑑定 工業製品鑑定	物理 機械 銃器鑑定 画像 音声鑑定	文書 筆跡鑑定 印影鑑定	心理 ポリグラフ 鑑定
------------------------------	------------------------------	---------------------------------	---------------------------	--------------------------

採用情報

勤務先	福井県警察本部刑事部 科学捜査研究所
採用予定	研究職員（法医係） 1名
職務内容	専門知識をもって犯罪捜査のために必要な鑑定（生体試料の体液種識別、DNA型鑑定、血液型鑑定、顔画像鑑定、毛髪・骨の人獣鑑別等）及び研究に従事

採用までの流れ

受験申込	2021年5月14日（金）～6月1日（火） （福井県人事委員会HPから受験申込みができます）
第1次試験	2021年6月20日（日）午前9時～午後4時30分頃 試験種目：教養試験（100点）、専門試験（200点）、適性検査Ⅰ 試験地：①福井会場、②東京会場 合格発表：2021年7月1日（木）午前9時
第2次試験	2021年7月22日（木・祝）～7月29日（木）のうち指定する2日間の予定 試験種目：論文試験（100点）、口述試験（400点）、適性検査Ⅱ 試験地：福井市を予定 合格発表：2021年8月中下旬（最終合格者は採用候補者名簿に登載）
最終面接	2021年9月上旬 試験地：福井県警察本部 採用決定：2021年10月上旬、採用予定：2022年4月1日（金）

科学警察研究所（警察庁付属機関）における研修制度

1年目	4年目	5年目以降
養成科 （3ヶ月間） 基礎的な知識・技能を習得 全国科捜研新人と公私の繋がりが得られる 研修寮は完全個室	専攻科 （3週間） DNA型鑑定のための資格取得を目的とした研修 これにより、DNA型鑑定を1人で実施できるようになる	現任科 （3週間） 養成科修了後に実務経験を積み、更なる知識・技能を習得 現任科までは必修で、鑑定に必要な能力が身に付く
各種専攻科 （4日～3週間） 特定の分野に関する高度な知識・技能を習得		
研究科 （1～6ヶ月間） 国内外の研究機関において、法科学に関する研究に専念できる制度		

鑑定業務： 上司や先輩の指導のもとで鑑定を実施
 研究業務： 法科学に関する研究開発・特許取得、博士号取得のための大学院入学も可能

科捜研職員の特徴

「鑑定人であり、研究者」
専門性の高い少数精鋭チーム
地方公務員（平日勤務）

求める人材

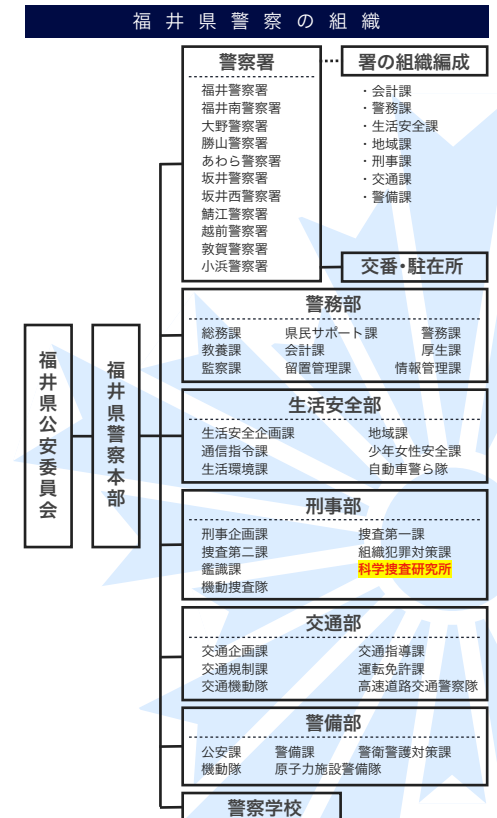
1. 正義感が強い人
2. 探究心旺盛な人
3. 明るく元気な人

働きがい・メリット

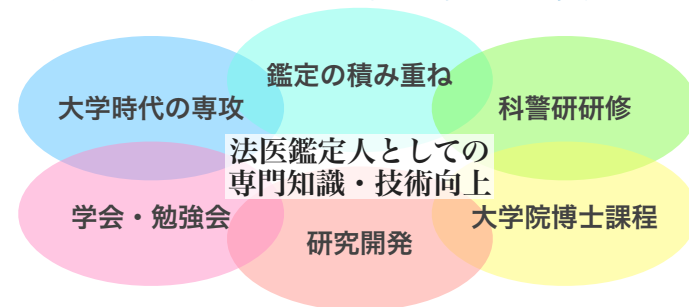
- 県内の刑事事件に広く関わる中で捜査の突破口を切り開くことも多く、社会貢献を強く実感できる
- DNA型鑑定結果は確度が高い客観証拠となり得るため、真相究明には欠かせない捜査手法として常に高い精度が求められる
- 民間企業や大学等と共同研究を行い、より優れた新規検査法を確立できれば、自身の開発した手法が全国科捜研に採用される
- 働きながら大学院に通い、博士号を取得することも可能
- 研究職の基本給は行政職や警察官よりも高く、査定昇給制度により実績に応じて昇給可能、その他各種手当が制度化
- 充実した休暇制度、ワークライフバランスの推進

処遇・福利厚生

福井県公安委員会
福井県警察本部



高度化する犯罪 vs 最先端の科学捜査



Forensic Science Laboratory of Fukui Prefectural Police Headquarters, 3-17-1 Ote, Fukui 910-8515, Japan